

## 化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2001 - 43	官報公示 整理番号	2 - 217(化審法) 1 - 58(化学物質管理促進法)	CAS 番号	111 - 87 - 5
名 称	1-オクタノール 別名：1-オクチルアルコール n-オクチルアルコール		構 造 式	H <sub>3</sub> C-(CH <sub>2</sub> ) <sub>7</sub> OH	
分 子 式	C <sub>8</sub> H <sub>18</sub> O		分 子 量	130.23	
<p>市場で流通している商品(代表例)<sup>1)</sup></p> <p>純 度 : 99.5%以上</p> <p>不純物 : イソオクタノール</p> <p>添加剤または安定剤 : 無添加</p>					
<p>物理・化学的性状データ</p> <p>外 観 : 無色液体<sup>2)</sup></p> <p>融 点 : -16 ~ -17 <sup>2)</sup></p> <p>沸 点 : 194 ~ 195 <sup>3)</sup></p> <p>引 火 点 : 文献なし</p> <p>発 火 点 : 文献なし</p> <p>爆発限界 : 文献なし</p> <p>比 重 : d<sub>4</sub><sup>20</sup> 0.827<sup>2)</sup></p> <p>蒸気密度 : 4.49(空気 = 1)</p> <p>蒸気圧 : 10 Pa(0.1 mmHg)(25 )<sup>2)</sup></p> <p>分配係数 : log Pow ; 3.00(実測値)<sup>2, 4)</sup>、2.81(計算値)<sup>4)</sup></p> <p>加水分解性 : 加水分解を受けやすい化学結合なし</p> <p>解離定数 : 文献なし</p> <p>スペクトル : 主要マススペクトルフラグメント m/z 41(基準ピーク, 1.0)、70(0.53)、84(0.43)<sup>5)</sup></p> <p>吸脱着性 : 土壌吸着係数 K<sub>oc</sub>; 137 ~ 983<sup>2)</sup></p> <p>粒度分布 : 該当せず</p> <p>溶解性 : 1-オクタノール / 水 ; 541 mg/L<sup>2)</sup> アセトン、エーテルなどの有機溶媒に可溶<sup>2)</sup></p> <p>換算係数 : 1 ppm = 5.42 mg/m<sup>3</sup> (気体, 20 ) 1 mg/m<sup>3</sup> = 0.185 ppm</p>					

## 総合評価

### 1) 危険有害性の要約

ヒトに関する報告はない。実験動物では、急性毒性は弱く、皮膚への中等度の刺激性がみられている。感作性、反復投与毒性に関する報告はない。変異原性・遺伝毒性の報告も少なく、*in vitro* の染色体異常試験、*in vivo* の染色体異常試験及び小核試験のいずれにおいても陽性の結果が報告されているが、発がん性に関する報告はない。生殖・発生毒性試験において、母動物で死亡がみられる用量においても、胎児(及び催奇形性)毒性は認められていない。つまり、感作性、反復投与毒性、発がん性など有害性を評価する上で、十分なデータがあるとは言えない。

本物質は環境中に放出された場合、水圏では生分解されやすい。大気中ではOHラジカルとの反応が関与しており、半減期は1日以内と計算される。環境省のモニタリングでは検出されたことがない。水圏環境生物に対する急性毒性は、藻類に対しては強い。

### 2) 指摘事項

- (1) 変異原性試験において陽性の報告がある他は、有害性を評価する上で、十分なデータがあるとは言えない。
- (2) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(2001).
- 2) Hazardous Substances Data Bank(HSDB), U.S. National Library of Medicine(2001).
- 3) ChemFinder, <http://chemfinder.cambridgesoft.com/>(2001).
- 4) KowWin ver 1.66, Syracuse Research Corporation(2001).
- 5) NIST Library of 54K Compounds.